

投資事業評価調書（新規）

| | | | | | |
|------|-------------------|---------------------|----------------------------|----|----------------------|
| 部課室名 | 県土整備部土木局 道路建設課 | 記入責任者職氏名 (担当者氏名) | 道路建設課長 多田 智 (県道係長 松田 智) | 内線 | 4 3 6 2 (4 3 7 6) |
|------|-------------------|---------------------|----------------------------|----|----------------------|

| 事業種目 | 道 路 | 事業名 | 事業区 間 | | 総事業費 | 2.0 億円 |
|--|-----|---|---|-------------|-------------|--------|
| | | 道路改築事業 すもとごしき (主)洲本五色線 | すもとごしきちようあゆはらみなみだに 洲本市五色町鮎原南谷 | | 内地補償費 | 0.5 億円 |
| 所 在 地 | | | 事業採択 予定年度 | 着工予定 年 度 | 完成予定 年 度 | |
| 洲本市五色町鮎原南谷 | | | 平成 19 年度 | 平成 19 年度 | 平成 20 年度 | |
| 事業目的 | | | 事業内容等 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 本路線は淡路島のほぼ中央に位置し、洲本市街地と旧五色町を結ぶ重要な幹線道路であるが、本事業区間は曲線半径が小さい箇所が連続し、事故が多発している。また、本事業区間は小中学校の通学路でありながら、見通しが悪く、大型車が対向車線にはみ出して通行する等、通学生も危険にさらされている。 そこで、本事業により、線形を改良するとともに、歩道を設置し、安全で円滑な交通を確保する。 また、合併支援道路として、新市中心部と旧五色町中心部の連携を強化する。 | | | 道路改築(線形改良・歩道設置) L = 200 m 合併支援道路、地域生活道路 【道路規格】3種3級(山地部) 【計画幅員】W = 5.5 (9.5) m (2車線+片側歩道) 【現況幅員】W = 5.5 (6.5) m 【計画交通量】4,100 台/日(H42 推計値) 【現況交通量】4,147 台/日(H17セカス) 【自転車歩行者交通量】 19 人台/日 (H17セカス) | | | |
| 評価視点 | | 評価結果の説明 | | | | |
| (1)必要性 安全・安心を確保する道づくり | | <ul style="list-style-type: none"> 2次緊急輸送路の機能強化を図る。 第3次救急医療機関である淡路病院へのアクセス向上を図る。 通学路の安全性向上を図る。 | | | | |
| くらしと交流を支える道づくり | | <ul style="list-style-type: none"> 洲本市街地と旧五色町中心部を結ぶ合併支援道路である。 淡路島における物流の拠点である洲本港へのアクセス道路である。 | | | | |
| (2)有効性・効率性 有効性 | | <ul style="list-style-type: none"> 費用便益比 B / C = 2 . 2 平成 16 年の災害復旧による切土法面を活用し、事故発生区間を解消する有効なルートである。 | | | | |
| 代替性 | | <ul style="list-style-type: none"> 道路前面の河川や両側の急峻な斜面などの地形的制約から、比較検討に値する案は見出せない。 | | | | |
| 効率性 (事業執行環境) | | <ul style="list-style-type: none"> 事業計画に対し、沿道住民の合意が得られており、洲本市とともに、用地買収のための調整が図られている。 | | | | |
| (3)環境適合性 | | <ul style="list-style-type: none"> 切土による発生土は他の公共工事へ流用し、資源循環に努める。 切土・盛土法面に周辺植生に配慮した植栽を行い、環境への影響を軽微にする。 | | | | |
| (4)優先性 | | <ul style="list-style-type: none"> 当該区間と隣接した災害復旧を期に用地提供に難色を示していた地権者から合意が得られたところであり、速やかな事業着手が望まれている。 | | | | |